

一之宮まち協だより

第34号

平成29年3月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

園児が雪上クルージング体験

宮保育園の全園児がモンデウススキー飛騨位山スノーパークでスノー(雪上)クルージングを体験 この行事は、体験を通して子ども達の豊かな人間性を養い、郷土愛を育てようと企画されたまち協の「体験の風」事業の一環として行われました。



折り返し地点では一旦降りて雪遊びをしました

「体験の風」事業

も達の豊かな人間性を養い、郷土愛を育てようと企画されたまち協の「体験の風」事業の一環として行われました。

クルージングは年長から年少のクラスごとに日を区切って行われ、1クラス5〜6人のグループごとに楽しみました。

2月14日に行われた年長クラスでは、スノーモービルに固定されたタイヤチューブそりに乗って、源流の森へ通じるコースの一部を一気に走りました。

途中で山の上から自分たちがいつも遊んでいる一之宮の街を見下ろすなどして遊んだあと、急坂を一気に下り歓声をあげていました。



急な下り坂で歓声をあげる園児達

飛騨は陸の孤島になる恐れも 防災部が末永氏招いて防災講演会

防災講演会が、まち協防災防犯部が主催して2月17日に一之宮公民館で開催され、参加した40人は、防災についての認識を新たにしました。

講師は東日本大震災で自宅やレストランなどを流し失、国府町で「復幸レストラン女川すえひろ」を経営する末永賢治氏。末永さんは「生きる今伝えたい大切なこと」と題して講演し、自らの体験をもとに、命を守るために何が求められるかについて話しました。

講演では、宮城県女川町の震災前後の変化や津波で町が流されていく生々しい様子などが映像で写され、その時の判断が生死を分けた事例などが説明されました。

末永さんは、自宅が海から1.5キロ離れていて標高が23メートルあることから、達するとは思っていなかった津波が遡上して、近所の人が一瞬にして波にさらわれたことや大川小学校の例を示して、震災以後よく耳にする「想定外」はありうることで、既成の考えや教で物事を判断する危険についても触れました。

また、被災後に物資が全く届かず、一部の家に蓄えられていた米やみそ、かまぼこなどで食いつないだ経験から、飲み物や食料の確



スライドを使って講演する末永氏



あいさつする黒木部長

保の重要性について話されました。比較的安全といわれる飛騨についても、過去に何度も大地震があったことや、東南海地震等の大災害が発生すれば物資や人は都市部に集中し、飛騨は陸の孤島になる可能性もあり、命を守るための普段の備えが大切だと強調されました。

まちよな 風景や星を中心に撮影に没頭

フェイスブックにもアップ

坂本 政和 さん（本通上）

今回は、本通上地区にお住いの坂本政和さん（70）です。本業では民宿「しもたや」を経営してみえます。位山国際スキー場ができた頃、奥地区から今の所へ出てこれられ民宿を始められました。「しもたや」はその屋号から名づけられたそうです。

民宿ではスキー客も減りましたが、最近では、時折外国人がネットで申し込んで来ることもあるそうです。また、夏には中学生対象の体験塾の田畑の手入れをしてみえます。大阪、神奈川など県外から5校の中学生がきて、一之宮の民宿に分宿していくそうです。

写真撮影の趣味を始めたのは40年ほど前で、途中でやめていたのですが、フェイスブックなどにきれいな写真が出ていたのを見て、また火がついたと言ってみえました。そして、自分でもフェイスブックに写真をアップされて



写真の前で満天の星空を撮影した 安峠 苅

います。これまで、岐阜県の夢起こしフォトコンテストで特選や準特選を受賞したり、JAのカレンダーに掲載されたりしています。主に風景や星の写真を中心に撮っているそうです。

これまでの写真で最高の作品は、白川村の冬の合掌集落の写真かな、と言ってみえました。東海北陸自動車道のできる前で、2時間もかけて撮影に行きたそうです。その苦労もあって会心の作品となったのでしょうか。しかし、まだ奥が深く、完成品はないと言ってみえました。

「赤道儀を使って追尾、ストロボの当て方で雪を、シャッターを開放して」など写真用語に触れ、ヘルポップ慧星撮影時の苦労話もお聞きしました。雪の降る寒い日、夕方から星空が見える場所や時間を狙って、シャッターチャンスを持つ姿などに「まちよ」さを感じてきました。

一之宮の撮影スポットは奥地区から見た乗鞍やモンデウススキー場からの景色、星空、JRの大カブと列車など多くあるそうです。みなさんもよい写真を狙ってみられたらどうでしょうか？ まち協文化教養部主催の位山交流館での「ふるさと写真館」にも参加したいと言ってみえました。楽しんでみられています。

今年は無神社の大祭があり、広報部で写真撮影の役があり、こちらも張り切ってみえました。

（山腰）

水無神社式年大祭あれこれ

飛騨一宮水無神社式年大祭齋行に向けて（大祭事務局）

■大祭について記者会見開催

飛騨一宮水無神社では、大祭齋行まで3か月を切った先月10日に参集殿で記者会見を開き、詳細について説明を行いました。

会見では三木信之の総裁が「全国に例をみない『飛騨の大祭』を57年ぶりに執行しますが、天下泰平、世直しと五穀豊穡を祈念するもので、一之宮町内をはじめ氏が一丸となり結集し、しっかりと一世代の祭典を、総役員挙げて成功に向け着々と準備をしているところです」とあいさつ。

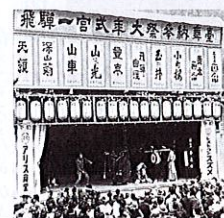
牛丸宮司は「飛騨で4日間の齋行は唯一で、深く盛大に誠心誠意、厳粛に国家の安泰、全飛騨郷民の平和を願い奉仕したい」と述べられました。

大祭には293社、6,800人が参集する予定で、祭儀のスケジュールや交通規

制など細部にわたり事務局が説明しました。

■「飛騨の大祭展」のお知らせ 懐かしい写真も見られます

飛騨一宮水無神社式年大祭奉賛会では、大祭に先立ち、歴史ある飛騨の大祭について、前回昭和35年に行われた大祭時の映像放映や写真展示、また飛騨一宮水無神社奉蔵の宝物の一部を紹介し（入場無料）。
○期間：3月1日（水）～4月16日（日）
○時間：午前9時～午後7時
○会場：飛騨高山まちの博物館特別展示室（高山市上一之町75）



記者会見であいさつする三木総裁



ね 寧音 ちゃん 平成25年9月4日生まれ
お父さん：入倉 英介 さん 《山下中》
お母さん：入倉 美帆 さん

ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

穏やかで周りの人に優しさを分けられる。ほっと一息させてあげられるような存在になってほしいと願い付けた名前です。「自分がしてほしいことは、他人に対してしてはいけない」という思いやりの心を大切にしたいです。

4月からは保育園。お家では保育園ごっこをして楽しみにしていますが、ママから離れたことがないので、パパとママは不安でいっぱい…

いつも家族を笑顔にしてくれる寧音、保育園でお友達がたくさ〜んできて、楽しい園生活が送れますように…

『ぼくのなまえ☆わたしのなまえ』を紹介するお子さんを募集しています！
詳しくは、まち協事務局（公民館内）☎53-2424
✉miyamachikyohidat@kayama.ne.jp
までお気軽にどうぞ！！

お知らせコーナー

■リフォーム製品フェアのご案内

リフォーム製品フェアでは、粗大ごみとして出された家具等の中から、まだ使用できるものを清掃・修理をし、格安の値段で提供します。

- 期日 3月7日(火)～9日(木)
- 時間 午前8時30分～午後5時
- 場所 一之宮支所ロビー
- 引き渡し 3月10日(金) 午前8時30分～午後5時
- 注意：3月10日(金) 午後5時までに製品を引き取ることできる方が対象です。

購入希望の製品がある方は応募票で申し込んでください。同一製品に応募が重なった場合は抽選で決定します。

■一之宮町民そり大会参加者募集 申込期間延長します

まち協体育部では、冬期スポーツとして今年はそり大会を開催します。プラスチック製のそりを使いタイムトライアルで競技します。

競技終了後は宝探しも行います。

- 日時：3月12日(日)
- 午前10時(受付9時)

- 会場：モンデウススキー場
- 部門：1人部門、ペア部門
- 宝探し：午前11時30分予定
- 申込方法：申込書をまち協事務局に提出
- 申込期限：3月6日(月)

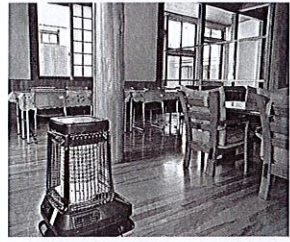
※ 申込期間を1週間延ばします。当日受付もありますが、参加賞はありません。なるべく事前申し込みをしてください。詳しくは事務局(53-2424)までお問い合わせください。



■交流館ロビーにストーブ入りました

一之宮町公的施設管理室では、飛騨位山文化交流館に冬季でも多くの人に来ていただこうと、ストーブを2台設置しました。

壁などで仕切られていませので、十分な暖はとれませんが、住民のみなさんにご利用いただけると幸いです。



2月中旬には公民館でこんな長いつららができました

年寄ればほどほどの距離を保ちいて
防げせぬこと我家の九条
又一つ歳重ねたる同窓会との友も皆老いて優しき
石好きの夫が築きしこの狭庭
取り払われて駐車場となる
松一位紅梅楓しだれひば春夏秋冬半生期暮らしぬ
はや八年仲間は決まって六名で
ライジボールのラリーは続けり
他人の善悪見つめて我身を照らすなり
素直になりて明日に行かなむ

三木藤次郎
永田和子
森本浩資

一之宮短歌会

図書館だより

飛騨にも春の気配が近づいてきました。あたたかな陽気に誘われて出かけたくありません。

一之宮分館では旅行のガイドブックや地図を所蔵しています。ぜひご利用ください。

〈今月の特集〉

★「新生活応援します」

春からの新生活に向けて準備をはじめませんか？
新入学や一人暮らしに役立つ本を紹介します。

★季節の絵本

ひな祭り・入園・入学の絵本を紹介します。

〈おはなし会のご案内〉

3月18日(土) 午前10時30分、スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。



～公民館から～

■展示コーナー

- ・さくらクラブ 絵手紙作品展(3月中旬まで)
- ・臥龍桜日本画大賞展高山市所蔵作品展(4月中旬まで)

■3月の公民館定休日

13日(月) 21日(火) 27日(月)

■3月の位山交流館定休日

6日(月) 13日(月) 20日(月) 27日(月)

一之宮町の人口情勢

2月1日現在・単位：人

世帯数		8 2 3 戸		
年齢	男性	女性	合計	
0～14歳	177	159	336	
15～64歳	690	712	1,402	
65歳以上	343	472	815	
合計	1,210	1,343	2,553	

編集後記

2月も逃げて、早3月。まだ寒い日が多いとはいえ、日差しは確実に暖かさを運んできてくれます。年度末で忙しい人もみえるでしょうが、春の日差しを感じてみませんか？(山腰)

つぶやき

日本人はイベント好き。特に女性は。それを知ってかスーパには、その時期に合わせて特設コーナーが設けられています。節分の恵方巻が終わるとバレンタインデー。イベントに踊らされていると分かっていても、見るとつい買ってしまふ消費者心理。そして、バレンタインデーの翌日はもうホワイトデーのコーナーに。

世の男性諸君、女性は「倍返し」を期待していますよ。(本の宅急便)

3月の行事予定

日	曜	行事内容
2	木	行政相談・心配ごと結婚相談(交流館)
7	火	中学校卒業式
11	土	サクティサークル閉校式
12	日	町民そり大会(モンデウス)
23	木	小学校卒業式
24	金	保育園卒園式(公民館)

カロリアにタオル寄付

女性部が呼びかけて

女性部では、部員に呼びかけて集めたタオルをデイサービスセンター一之宮(カロリア)に2月4日に寄付しました。毎年実施している恒例の事業で、今年は段ボール4箱分が集まりました。

中にはバスタオルや手縫いぞうきんも入っていて、受け取った施設側からは「どれだけあっても要るものなので大変助かります」と感謝されました。



タオルを手渡す富田部長

女性部が今年度反省会 明るく楽しい事業運営

まち協女性部は2月18日に民宿 甚左衛門で、執行部・理事・支部長が出席し反省会及び懇親会を行いました。

執行部より今年度の活動・会計報告の後、各地区の理事・支部長が一年を振り返り、反省や来年度に向けての抱負について話し合いました。

今年度は「女性の元気が地域



1年を振り返り交流する参加者

の元気に結びつくように」と協力し、相互交流を通じて明るく楽しい事業を運営する事ができました。

反省会後の懇親会では、一年間の労をねぎらい、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

(牛丸)

宮中で3年生を送る会

感謝や引継事項を表明

宮中学校の「3年生を送る会」が2月17日に一之宮公民館で行



拍手で迎えられる3年生

われしました。1、2年生による実行委員会が企画したもので、合唱などを通じて感謝や引継ぎへの思いが表明されました。始めに3年生は、1、2年生の花道の中を拍手で迎えられて入場。その後、1年生によるメッセージと合唱、2年生による劇と合唱、両学年合同による合唱が3年生に贈られました。

それに対して3年生は引き継いでほしいことを伝え、部活動や委員会活動への自分たちの思いを託しました。

交流館にストーブ備付け 冬期間でも暖かいですよ

飛騨位山文化交流館ロビー内に設けられている「みや交流サロン」にストーブ2台が2月10日に設置されました。

みや交流サロンは高齢者などの語らいの場として一昨年から開始されましたが、11月から4月頃までは寒くて利用者は少ないため、年間を通じて利用してほしいと備付けられたものです。



ストーブを背に談笑する姿も

ロビーは天井が高く広いため、全体が暖まることはないものの、ストーブ周辺は暖かく、訪れた人は暖をとりながら談笑していました。

「ふるさと探検」で雪上体験 「かんじき」歩行は今一步

サタデイサークルのふるさと探検で、雪上クルージングと「かんじき」体験がモンデウススノーパークで行われました。

恒例の雪上クルージングは子ども達に人気の内容で、一之宮ならではの体験イベントになっています。

参加した10人の児童はコースとなっている林道の折り返し点で、湧水を試飲したり、途中のかまくらのある所ではかんじきを履いたりして、雪遊びに興じました。

輪かんじきの履き方や歩き方を付き添いの指導者から教えてもらい雪上を歩きましたが、慣れないと、着け方や歩き方がうまくいかず、外してしまう子が



まくらでかんじきの履き方を習う参加者

多い結果となりました。この後、動物の足跡を見ながら徒歩で戻りました。(伊藤)

宮小で6年生を送る会

4月には笑顔で中学へ
2月24日に宮小学校で6年生を送る会が行われました。

一人ずつ小さい頃の写真が映し出されたステージで一礼をして席に着く6年生。とても頼もしく成長し、最高学年として宮小学校を引っ張って来ました。

1年〜5年の発表は6年生への感謝の気持ちに溢れ、先生方からは中島みゆきの「糸」の合唱が贈られました。

6年生も「ありがとう」の素晴らしい合唱で応えました。小学校生活もあと半月余り。悔いのないよう楽しみ、4月には笑顔で中学入学を迎えてほしいと思います。



「ありがとう」を合唱する6年生